

# ご挨拶

令和七年一月

曹洞宗 奕葉山 昌傳庵

住職 今成 幸裕  
副住職 今成 健二

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

「仏遺教経」というお経があります。

これは、お釈迦様がお亡くなりになる時に最後の氣力をふり絞ってされた「お釈迦様の最後の説法」と云われるものです。

このお経の最後の方に「私は医者のようなもので、医者が病人を診てその人に応じた薬を処方するように、人々に応じて進むべき道を示してきた。しかし、病人がその薬を飲もうとせずに病気が良くならなくても、それは医者の子ではない。それと同じように、良い道を示してもそれを進もうとしなければそれは導く者のせいではない。」とおっしゃられました。

さて、その道は身の回りに数多く示されてきたのでした。例えば、住職の私は子供の頃から反抗ばかりしてきた人間でしたが、それでも否応なしに仏道修行の道を歩かされているうちに、仏様の教えが毛穴から入ってくるように少しずつ理解できてきた気がします。

(世界や人々の)平和への道や考えを教

えられ、私は少しはまともな人間に近づくよう救われてきたと思っております。

仏教を嫌がり避け続けてきた私でも、色々な善行を学ぶことができた良い経験は、寺のお便りに掲載したり、法事では時には二、三十分もお経の解釈や仏話を交えてお話をしたりしてきました。

お釈迦様の話を聞いた人が更に良き道を見出されたり、少しでも道のヒントになればとの思いでしてきたつもりです。

\* \* \*

なお、昌伝庵では五、十月の第一日曜日に坐禅会をしています。よく整えた自分を創り正しい禅定を覚えるためにです。また、四月の第三土曜日には、大般若経に触れ親しむために、そして懇親も目的にして大般若会を催しております。

更に、例年特派布教師が市内の当番になった寺院を巡回して法話をする会もありますし、本山研修旅行等もしています。日程が分かれば七月の寺のお便りに掲載したり本堂に掲示したりしています。お釈迦様の教え(道)に触れる機会がありますので是非お問合せ・ご参加下さい。

## 今年の大般若法要

日時 ; 4月19日(土) 14:30~受付  
内容 ; 15:00 法話、15:30~法要  
16:00 懇親会~

(弁当をお持ち帰り下さっても結構です)

会費 ; 3,000円 (お札御祈禱、懇親会費)  
申込み ; 電話 (0238) 23-0390

## 坐禅会

5月~10月の第1日曜日 朝7:00~  
申込不要。体が硬く足の組めない方でもOK

話は少し逸れますが、毎回法事では、仏法に則った生活をしているか自分たちの姿を省みるためにも、前述の様に読経するお経の内容を解釈しております。ただ、中には小さなお子様のお世話をしなければならぬ方や、長い話が苦痛な方もおられるかと思われまます。そこで、四十年続けてきたやり方ですが無理強いないよう法話は希望される場合にしようかとも思っているところです。

祖先からのご縁の大切さ

檀家総代 ○○○○

私は総代を平成二十四年に拝命して十二年になります。これまで今成御住職には色々のご指導・ご教示賜りました。

仏教では流転縁起と還滅縁起が有り、この世にあるものは、みな切っても切れない関係にあり関係し合って存在していると書かれて有ります。

所詮、人間は一人では生きられず、お互いに助け合って共存しています。人の縁を大切に生きていきたいものです。

なお、昌傳庵では毎月一度座禅会を開いて仏教の教えを説いておられます。

現世の人間関係の悩みや相談を通じて、昌傳庵が寄り所になっており素晴らしい試みであると思っております。

また、昨年度から庫裡建設に係る寄付金勧募が始まっております。令和九年度の庫裡建設完成に向けて、檀家一同力を合わせて目標を達成していきたいものです。これからも菩提寺である昌傳庵の檀家としてご住職とのご縁を大切にして務めて参りたいと思っております。

今年が檀家の皆様にとりまして、素晴らしい年になります様ご祈念申し上げます。

懐かしの写真 No.8

今回は、平成22年の様子を掲載致します。前住職が亡くなり10月の本葬と現住職の就任式（晋山式）もあるため、老朽化していた本堂と廊下の補強や内外の環境整備をした年でした。現住職も教員を辞め、住職に専念することに致しました。



↑ シロアリ被害でブカブカだった本堂の廊下の床を直し、隙間だらけの窓もサッシにしました。



↑ 本堂床も張替えして頑丈に。大法要など今後の法要にも安心できるようになりました。



↑ 南側の田だった湿地帯は荒地地となっていた為に、埋め立てて整地し、当日は駐車場としました。



↑ 7月20日 住職の母親も、前住職逝去の8か月後に、後を追うように80歳で亡くなりました。2人の遺影が並んでいます。



↑ この夏から、お盆の墓地灯を個人個人で点灯する方式から墓地全体を照らすような大きなボンボリ型の照明にしました。



↑ 10月2～3日の両日、前住職の本葬儀と現住職の就任式を檀家の方と市内の関係寺院に参列してもらい挙行了しました。